

令和8年3月16日

保護者の皆様

葛尾村立葛尾小学校
校長 佐藤 秀 敬

学校評価アンケートの報告について

春の光に包まれて、心穏やかな季節となりました。本校保護者の皆様には、平素から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、児童及び保護者の皆様のご意見を学校教育に反映させることを目的として、学校評価アンケートを7月と12月に実施いたしました。ご協力ありがとうございました。結果がまとまりましたので報告いたします。

《児童・保護者アンケート結果と考察》

①「学校が楽しい」について

9割の児童が「学校に通うのが楽しい」と答えています。保護者は7月より12月の方が評価は上がっています。12月の評価が下がっている児童もいるので、児童一人ひとりの学校生活、日々の学びが充実するよう教育活動を進めていきます。

②「学習」について

ほとんどの児童が「授業は楽しくわかりやすい」と答えています。保護者は12月の評価は「学習内容が身につけている」が100%になっています。

家庭学習の習慣化や自分で課題を見つけて学習することが苦手な児童もいるので、主体性を持って学習に取り組んでいくことがこれからの課題です。

③「読書」について

児童はたくさんの本にふれていることが伺えます。12月の保護者評価が上がっており、家庭での読書習慣が身に付いてきています。大変素晴らしいことです。読書は学力向上や心の安定に繋がります。これからも読書の大切さを伝えていきます。

④「友だち」について

12月の保護者評価は上がっているのですが、児童の評価はやや下がっています。引き続きよい人間関係を作る活動や自己肯定感を高める教育を進めていきたいと思っております。

⑤「あいさつ」について

児童、保護者ともできているという評価です。ただ、声が出ていなかったり、相手の方を向いていないままあいさつをしようとしたりして伝わっていない場面があります。今後も、地域や保護者の皆様のご協力をいただきながら、気持ちの伝わるあいさつができるように教職員から積極的にあいさつをして、声をかけていきます。

⑥「道徳心」について

良好な評価です。葛尾小の児童は思いやりのある児童ばかりであると感じます。道徳の時間の充実はもちろん、児童を全教職員で育てられるよう一層努力していきます。また、異学年交流をはじめとする様々な交流を大切にし、多様性の理解や協働学習の推進を図ったり、幼小中の連携や地域との交流を続けます。

⑦「運動習慣」について

保護者評価で4割の児童があまり行っていないと答えています。体力向上は大きな課題です。学校では、業間や昼休みには低学年の児童はよく外遊びをしています。体育の授業だけではなく、教職員も積極的に外に出て運動する楽しさや喜びを伝えられるよう、より一層努力していきます。

⑧「望ましい生活習慣」について

早寝・早起き・朝ごはんなどが習慣化されていない児童もいるようです。小学生の生活習慣は、健康と学習能力の土台になります。夜9時半から10時半ころには就寝し、朝は太陽の光をあびて朝食を摂り、午前中の脳と体を活動モードに切り替えるリズムが理想的です。3食のバランス、適度な運動、計画的な家庭学習が心身の成長につながります。学校でも、さまざまな機会ですべて指導していきます。

お忙しい中、アンケートへご協力くださり、誠にありがとうございました。
くわしい結果と自由記述のご意見と回答は別紙をご覧ください。

あたたかい励ましのお言葉や建設的なご意見をいただきありがとうございます。
いただいた結果やご意見は真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきます。

保護者の皆様からいただいたご意見を元に教育計画を作成し、学校運営協議会にて、学校運営委員の方々と意見交換の場を持ち、話し合いをします。これからは葛尾小学校が子どもたちにとって、更に夢を持って楽しく通える学校となるよう努めていきます。